

第46回福島県川柳賞作品募集要項

1 趣 旨

県民から広く作品を公募して優秀作品を顕彰し、地方文化の進展と本県川柳文学の振興を図る。

2 主 催 福島県川柳連盟・福島民報社・福島県

共 催 福島県教育委員会

3 募集作品の部門及び規格

部 門	規 格
一 般 の 部	50句を集録した作品
青 少 年 の 部	10句を集録した作品
小 学 生 の 部	5句を集録した作品

自作の未発表作品とする（同人誌などに発表した作品が含まれていてもよい）。同一作品、酷似作品が大会・コンクール等で先行して発表されていた場合、入賞の対象外とすることがある。

(注) (1) 応募は1人1作品

(2) 原稿作品は郵送で応募する。PDFデータをメールで応募することもできる。

(3) 青少年とは、中等教育を行う学校に在籍する12歳以上で締切日現在20歳未満の者とする。

(4) 青少年は、一般の部の規格に合った作品を提出すれば一般の部にも応募することができる。

4 応 募 資 格 県内在住者。ただし、東日本大震災・東京電力福島第一原発事故の影響で県外に避難している県人、および県外で勉学中の学生を含む。

5 応 募 方 法

(1) 郵送の場合は必ず8部（コピーも可）提出する。ただし小学生の部は、1部でも可。

(2) 原稿作品は400字詰め原稿用紙（A4判の縦書き）を用い、文字は縦書き、楷書で正確に書く。ワープロソフトも使用できる（A4判の縦書き）。メールで応募する場合、ファイル形式はPDF（A4判縦書き）に限る。ファイル名は「〇〇の部、氏名（ふりがな）」とする。いずれも以下の規格を満たすこと。

a. 表紙をつける（郵送の場合は一部ごと、右とじとする）。

b. 表紙には応募部門、作品の表題、氏名（ペンネームの場合は本名も）、生年月日、性別、郵便番号、住所、電話番号、職業（会社名、学校名、学年など）、川柳歴、所属結社、過去の県川柳賞の受賞歴を記入する。※避難している人は避難前の住所と現住所を記入する。表題と氏名には振り仮名をつける。

(3) 点字作品は墨訳（ペン書きなど）をして応募する。

(4) 応募作品が以上の規格に合わない場合は、審査の対象外とすることがある。

(5) 送付先 福島民報社編集局文化部「県川柳賞係」

〒960-8602 福島市太田町13番17号（問い合わせ先 電話024-531-4141）

メールアドレス senryusyo@fukushima-minpo.co.jp

(6) 応募作品は返却しない。

(7) 応募後の修正は認めない。

(8) 入賞作品は原則として作品集に記載する。

(9) 青少年の部と小学生の部の原稿用紙と申し込み用紙は福島民報社または、福島県のホームページからダウンロードできる。メールで応募する際はPDF形式に変換すること。

6 賞の種類と授賞対象

一般の部の川柳賞には「正賞」「準賞」「奨励賞」を授与する。

青少年の部には「青少年奨励賞」を、小学生の部には「児童奨励賞」を授与する。

*すでに「正賞」を受けた者は応募の対象としない。

*すでに「準賞」「奨励賞」を受けた者は同一の賞は授賞の対象としない。ただし、上位の賞は授賞の対象とする。

*すでに「青少年奨励賞」を受けた者は「一般の部」にのみ応募できる。

7 締め切り期日 令和8年8月31日(月) 当日消印有効

8 発 表 令和8年11月上旬（入賞者は本人に通知するとともに、報道機関を通じ公表する）

9 表 彰 式 令和8年11月中を予定。福島市内

10 審 査 委 員

雫石 隆子（全日本川柳協会常務理事）

山田 昇（県川柳連盟会長）

駒木 香苑（県川柳連盟副会長）

小林左登流（県川柳連盟副会長）

紺野 香里（県文化スポーツ局長）

渡部 育夫（福島民報社編集局長）

[表紙の記入例]

○ ○ 部門
題 ○ ○ ○ ○ <small>ふりがな</small>
氏名 ○ ○ ○ ○ *ペンネームの場合は本名も明記 <small>ふりがな</small>
生年月日
性別
郵便番号、住所(*避難中の方は避難前の住所と現住所)
電話番号
職業(会社名、学校名、学年など)
川柳歴 ()
所属結社
過去の県川柳賞受賞歴
[応募上の注意]
句数や必要事項の記入に誤りのないように注意下さい。応募の規格に 合わない場合、失格となることがあります。
(失格となる例)
・句数が規定より多い(少ない)。
・便せんや短冊、はがきに作品を書いて応募する。
・住所、電話番号などが明記されていない。
・新聞等で掲載された作品。